

地方CR活動

大阪府協会

「子ども向け金融教育プログラム」を実施しました

大阪府協会（会長：石井雄三 住友生命大阪中央支社長）ならびに大阪市児童福祉施設連盟は、1月17日に日本生命御堂筋南支社研修室で、子ども向け金融教育プログラムを実施しました。

大阪市内児童福祉施設6施設から小学校6年生32名が参加し、ファイナンシャルプランナーから「見えないお金 キャッシュレスって何？」をテーマに講義を受けました。講義終了後は実際にICOCAカードを各児童が持って駅でチャージに挑戦し、それを使って近隣の商業施設で買い物を体験しました。参加した児童からは「講義を受け、お金の歴史や大切さ、ICOCAの使い方を学びとても勉強になりました。はじめてキャッシュレスで買い物をして、現金を出さずにスムーズに支払いができ便利さが良く分かりました」といった声が多く寄せられ、大変有意義なイベントとなりました。

大阪府協会は、会員各位のご協力のもと、社会貢献活動を継続したいと思います。

